

口述による歴史記録の評価方法

口述による歴史記録実践ガイド

末日聖徒
イエス・キリスト
教会

なぜ重要なのか？ 評価とは、口述による歴史記録が決められた目的をどれくらい達成したかを知るための体系的な方法です。評価することにより、口述による歴史記録の作成や記録、保存処理をする際にどこがうまくいっていてどこを改善すべきかが分かるようになります。

知っておくべきこと 評価する際には、どこがうまくいっていてどこを改善すべきなのかを考えさせるような質問をしてください。「評価テンプレート」には、あらゆる質問が記載されています。テンプレート記載の質問を使用するか、または必要に応じて特定の質問を選んでください。

始める



口述による歴史記録が出来上がったら、5–10分時間を取って、評価を行ってください。この評価は一人で行ってもいいですし、仲間や上司と一緒にすることもできます。

1

決める。「評価テンプレート」に記載されている広範囲にわたる質問からどれを使うかを決めます。



2

質問する。以下の質問をします。これは、最低限行うよう勧められている質問です。

- ・どこがうまくいきましたか。それはなぜでしょうか。
- ・どこを改善すればよかったでしょうか。これについて、次回はどのように行いますか。



3

深く考える。各質問について深く考えて、話し合います。どの決定がどのような結果に結びついたかを具体的に考えてください。



終了

口述による歴史記録の出来栄は、口述歴史家の話の持って行き方や行動に影響されます。今後口述による歴史記録を作成する際にどこを改善すべきかを明らかにしましょう。



質問がある場合や助けが必要な場合 「教会歴史スペシャリスト」ウェブサイトにある「評価テンプレート」をご確認ください。